

若狭国・越前国の初期郵便印 不統一印

山崎 文雄 (S-133659・福井)

若狭国・越前国は現在の福井県にあたります。その初期郵便には全国の郵便取扱開始に伴い、抹消印としてそれぞれの郵便局で独自の印が使用されました。また、同時に証示印が中継印、到着印として使用されました。これらの証示印も不統一印として、分類がされています。若狭国・越前国は郵便局の局数も少なく、当然、不統一印の種類もそれに比例して数が少ないです。特出しているのは、福井局の「足羽縣/検査済」です。この不統一印は東海道筋の大型地名入り検査済印と同じ大型地名入り検査済印に分類されています。

多くの新発見の不統一印が含まれ、収集率は若狭国で82%、越前国で87%で、ほぼ確認されている郵便局の不統一印を、展示されていると感じていただければ幸いです。

若狭国・越前国の郵便印

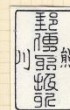
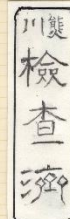
不統一印  
遠敷郡

若狭・熊川

(明治5年7月1日開局)

熊川検査済・熊川郵便取扱所

和紙費2銭タイプIII単貼封書使用



抹消印 若狭・熊川 不統一印 □熊川検査済  
証示印 若狭・熊川 不統一印 □熊川郵便取扱所  
明治7年6月21日

到着印 なし  
近江国大津中町通り宛

熊川局不統一印「熊川検査済」(抹消印)のエンタニアは2例のみ報告あり。

若狭国・越前国の郵便印

不統一印  
敦賀郡

越前・敦賀

(明治5年7月1日開局)

越前敦賀郵便検査済

電200次2版 pos.6 単片貼り大阪宛てエンタニア



表面 80%縮小コピー



抹消印 越前・敦賀 不統一印 越前敦賀郵便検査済  
証示印 越前・敦賀 不統一印 □敦賀港郵便所 書込みより明治5年9月24日(差立)  
到着印 大阪 不統一印 □大阪郵便役所 明治5年(壬申)9月26日  
「大阪委託」朱印  
差出人:越前敦賀港肥前屋 船屋作左衛門  
受取人:大阪産屋橋東一町 産屋嘉助 大神丸専次郎様 (大神丸、帆船 61.96t、  
船主/名越愛助)

越前敦賀局の最初期のエンタニアで「越前敦賀郵便検査済」の唯一のカバー  
旧山本鑑一コレクション

若狭国・越前国の郵便印

不統一印

越前・福井

足羽縣/検査済

龍半銭1版 pos.2,3,4,16,24,5 枚貼エンタニアカット



抹消印 福井不統一印 足羽縣/検査済  
差出証示印 □ 八日出  
到着印 大阪不統一印 大阪郵便役所  
壬申(明治5年)11月11日